

篆刻美術館

篆刻美術館



概要

平成3年春に開館した日本で初めての篆刻専門の美術館。建物は、大正9年に建設された3階建て石蔵を改修したもので、国の登録有形文化財となっている。篆刻は書道芸術のひとつで、700年ほど前に中国でおこり、四書・五経や漢詩などから語句を選び篆書という古文字を用いて柔らかい石などに刻んで紙に押したものを鑑賞するもの。館内には、古河出身の故生井子華の作品を中心に、篆刻にかかわる封泥や石印材を常時展示している。

取り組み

気軽に篆刻が体験できるように学習室を開設している。体験に必要な用具・用材と実技指導員はすべて学習室が準備する。(要予約、有料)
学習室には、生井家から寄贈された生井子華収集図書1330点を配架しているので、資料の閲覧や篆刻について学習ができる。

場所 茨城県古河市中央町二丁目4-18

アクセス

- 電車の場合
JR宇都宮線 古河駅より徒歩8分
東武日光線 新古河駅より徒歩25分
- 車の場合
東北自動車道 羽生IC・加須IC・館林ICより約30分、
久喜ICより約40分
圏央道 五霞IC・境古河ICより約30分



問合せ

0280-22-5611
※開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)
入館料 一般200円、小中高生50円
休館日 国民の祝日の翌日、毎月第4金曜日、年末年始、特別整理期間

自然拠点

文化拠点

景観 生物 地物・現象 公園 史跡 行事 産業・伝統 食 交流・学習